

平成28年度事業報告

1 普及啓発事業

(1) 賛助会員

がん征圧運動に協力していただく賛助会員(維持会員)の拡大に努めた。個人会員は379人、法人会員は126件であった。

(2) がん征圧月間運動

日本対がん協会と日本医師会は、9月を「がん征圧月間」としており、また、北海道は9・10月を「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」としている。当協会は両者と協力し、9・10月重点的にがん征圧運動を行っている。具体的な取組みとしてはア 「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」行事として、北海道庁ロビーにおいて「がん予防普及パネル展」を開催した。

イ がん検診事業の拡大をはかるため、地域団体と協力して街頭PRを行った。

ウ 広報資料・がん関係資料を報道関係者に積極的に提供し、新聞・テレビ・ラジオ等メディアを通じてがん征圧月間のPRを行った。また、がん予防ポスターを北海道医師会と連携し、道内の医療機関及び市町村へ配付した。

エ 官公庁に協力を得て、がん検診受診促進のための懸垂幕・看板を提示してもらい、PRを行った。

(3) がん予防道民大会

がんに関する正しい知識を広く道民に普及することにより、がん予防活動の実践とがん検診事業の進展を図ることを目的として、昭和40年以来、がん征圧月間の中心行事として全道で開催している。今年度は、北海道・名寄市・北海道健康づくり財団と共催し、数多くの関係団体の協賛・後援のもと、10月14日(金)、名寄市民文化センターにおいて次のとおり開催した。本大会には、全道から650名が参加した。又、健康教育の一環として地元高校生・大学生の参加もあり、盛会裡に終了した。

大会の主な行事

○ がん予防功労者表彰

受賞団体：滝川市、富良野市、白糠町、名寄市保健推進委員協議会

○ 特別講演

「胃の検査について知ろう」

演者 (公財)北海道対がん協会 常務理事兼センター長 山口 由美子

○ 健康講演

「笑い与健康」

演者 落語家 桂 枝光 氏

(4) 啓発セミナー

ア がん予防学級

一般市民を対象に、がんに関する正しい知識の普及を図るため、札幌・旭川・釧路の各センター及び帯広出張所で4コースを開講し、延べ198人が受講した。

イ 北海道家族の健康をまもる講習会
北海道健康をまもる地域団体連合会・北海道食生活改善推進員協議会、北海道結核予防会と共催し、平成 28 年 7 月 1 日～2 日の 2 日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、全道から参加した 67 名の受講者にごん・結核・栄養等に関する講習会を開催した。

ウ 講習会等
地域住民や保健推進員などを対象に、46 回、1855 名へ講演・講習会等を行った。

(5) ごん対策の概況

ごん対策の概況については昭和 45 年から毎年発刊している。平成 28 年度は 7 月（平成 26 年度実績）、1 月（平成 27 年度実績）に発刊した。

(6) その他情報発信

ア 機関誌「しらかば」の発刊
北海道対ごん協会の機関誌である「しらかば」を年 3 回発刊した。

イ ホームページの充実
近年、インターネットが年齢を問わず活発に利用されていることから、ホームページを充実し、新しい情報の提供に努めた。

ウ メディアの活用
メディアを通じて、ごん予防の普及に努めた。ミニコミ誌・コミュニティ FM 局などで、ごん検診について PR を行った。

(7) 普及啓発の推進

ア 地区組織との連携
ごんに関する正しい知識の普及、及びごん検診事業の拡大を図るため、各種団体・地区組織と連携を行った。

イ 企業との連携
ピンクリボン運動等、ごん征圧の趣旨に賛同する企業と連携し、工場見学と検診実施を組み合わせたツアーを企画する等、ごんの知識の普及と検診の拡大を図った。また、事業所等の職員向けの健康教育にも積極的に講師を派遣した。

ウ ボランティア団体への支援
ピンクリボン運動等の啓発活動に取り組んでいる市民団体を支援し、その団体の協力のもと検診の拡大を図った。

エ 健康まつり等への参加
各市町村が行う健康まつり等に協力し参加者へ啓発活動を実施した。

オ パンフレット、リーフレット、ポスター等
パンフレット、リーフレット、ポスター等を作成配布し、ごんに関する正しい知識の普及、及びごん検診事業の拡大を図った。

カ 子宮頸がんに関する普及啓発プロジェクトへの活動協力

札幌市保健所、市内大学、リボンムーブメント北海道（大学生の子宮頸がん啓発活動グループ）からなる標記プロジェクトに実行委員として参加したほか、メンバーのがんに関する正しい知識を習得するための研修会等の協力をおこなった。

(8) 各種がん対策会議

がん検診事業を拡大し受診率の向上をはかるため、次のとおり会議を開催した。

ア がん対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に平成 28 年 10 月 28 日（金）ホテルポールスター札幌において「がん対策推進会議」を次のとおり開催した。

○ 報告事項

1 北海道からの報告

・北海道のがん検診について

2 北海道対がん協会からの報告

・平成 29 年度検診の実施計画について

・胃部エックス線検査の有効性について

・乳がん検診における視触診の現況について

・当協会の精度管理指標について

○ 講演

「北海道から肺がんの死亡をなくすために」

KKR 札幌医療センター 病院長 磯部 宏氏

イ 日本対がん協会 東北・北海道ブロック会議

東北 6 県支部が集い、事業状況等について情報交換を行った。

(平成 28 年 11 月 17 日岩手県盛岡市にて開催)

ウ 各センター所在地と北海道対がん協会とのがん検診打合せ会議

がん検診を、円滑かつ効率的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打ち合わせ会議を開催し、協議した。

(9) 受診率の向上

ア 受診率向上委員会の充実強化

委員会の在り方検討グループ会議も含め開催し、受診率向上に向けて検討した。

イ 未受診者への検診勧奨

新聞折り込みチラシ・未受診者勧奨はがき等を活用し、検診対象年齢でありながら一度も受診していない人についての働きかけや、1 年未受診者・2 年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、チラシを約 35.7 万枚、ハガキ約 1.1 万枚を作成し、市町村へ提供した。

ウ 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化をすすめた。

エ 日曜検診の実施

3 検診センターで平日受けられない人などを対象に、がん検診と各種検診（健診）を 16 日間実施し延べ 2,545 人受診した。

(10) 行政との連携強化

受診率の向上に向けて、北海道をはじめ市町村と連携強化し推進した。

(11) センター検診の充実

ア センター利用のPR

札幌市・旭川市・釧路市内の町内会へ積極的に検診をPRし、センター利用の受診拡大をはかった。

イ 人間ドックの受診拡大、新たな検査項目の追加

平成 28 年度から人間ドック標準コースに CT 検査を追加したプレミアムドックやピロリ菌検査を開始した。

ウ ホームページからの予約

夜間や休日も予約を受けられるよう、ホームページに予約フォームを設置し管理している。

(12) その他

ア 北海道がん対策基金の事務局運営

当会は事務局として基金の管理・運営を行っている。平成 28 年度末の寄附額 14,608,378 円であった。また、道内でがんに関する活動を行う 5 団体へ 113 万 1 千円を助成した。

イ がん電話相談事業

専任の相談員を置き「がん電話相談」事業を実施しているが、平成 28 年度の相談件数は、63 件（札幌市内 47 件、他市町村 8 件、不明 8 件）であった。これを性別でみると、男性 13 人、女性 50 人、部位別では、乳房、泌尿器、子宮、大腸・膵臓（同数）がんの順であった。

ウ 小舟会事務局

当協会に事務局を置く小舟会は、がん患者やその家族を会員として昭和 42 年に発足して以来、会員相互の親睦を深めることを目的に、がんの不安・術後の悩みなどを語り合う会やがん予防や健康増進に関する研修会などを定期的に開催するなど、道内のがんサロン活動の先駆的な役割を果たしてきた。

しかし、近年は道内各地の病院にがんサロンが設置されるなどにより、新たな会員の加入が見込まれないほか、現会員の高齢化等から活動の継続が困難な状況となった。設立から 50 年を迎えるに当たり、50 周年記念誌を作成するとともに、今後の会のあり方について協議を重ねた結果、活動を継続することは難しく、会の設立当初の目的は果たしたということで平成 29 年 3 月で解散する運びとなった。

エ 禁煙運動への参加

北海道禁煙週間実行委員会に参加して、WHOが提唱する世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加協力した。

オ リボンムーブメント（大学生の子宮頸がんの啓発活動グループ）への活動協力
グループのメンバーが子宮頸がんの正しい知識を習得するための研修会へ講師を派遣した。

2 調査研究事業

(1) 学会研修

日本消化器がん検診学会北海道支部の主催する医師・放射線技師・保健師等の合同学会に参加・協力した。また、職員の資質の向上をはかるため、日本消化器がん検診学会・日本放射線技術学会・日本乳癌検診学会・日本臨床細胞学会等に派遣し、12学会で延べ14人が発表した。

(2) 厚生労働省「がん対策のための戦略研究事業」

「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の研究団体として参加。

(3) 研究事業

子宮頸がん検診受診者の内、同意を得られた方に対して、細胞診に加えHPV-DNA検査を併用実施し、これにより子宮頸部病変の検出における、HR-HPVの検出または遺伝子型16型/18型判別の実有効性を検討することを目的として行った。

研 究 名 「北海道におけるHPV併用検診臨床研究」

研究統括責任者 北海道大学大学院 医学研究科学婦人科学分野 櫻木範明教授
研究実施医療機関 北海道大学・札幌医科大学・旭川医科大学・北海道対がん協会

3 会議開催状況

(1) 理事会

第1回理事会	平成28年	6月1日(水)	場所	会議室
第2回理事会	平成28年	6月30日(木)		(書面による)
第3回理事会	平成28年	9月6日(火)		(書面による)
第4回理事会	平成28年	10月14日(金)		(書面による)
第5回理事会	平成29年	3月15日(水)	場所	会議室

(2) 評議員会

第1回評議員会	平成28年	6月20日(月)	場所	会議室
第2回評議員会	平成29年	3月30日(木)		(書面による)

(3) 四役会

第1回	平成28年	5月30日(月)	場所	役員室
第2回	平成28年	8月25日(木)	場所	役員室
第3回	平成28年	12月6日(火)	場所	役員室
第4回	平成29年	2月27日(月)	場所	役員室

4. 集団検診事業

総括表

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん	検 診 車		87,917	50,450	24,370	13,097
	検 診 センター		27,170	16,024	7,525	3,621
	計		115,087	66,474	31,895	16,718
	計 画 数		126,510	73,500	34,600	18,410
	実 施 率		91.0%	90.4%	92.2%	90.8%
子 宮 が ん	検 診 車		21,927	10,749	7,992	3,186
	検 診 センター		43,777	24,652	14,481	4,644
	計		65,704	35,401	22,473	7,830
	計 画 数		69,030	38,170	22,500	8,360
	実 施 率		95.2%	92.7%	99.9%	93.7%
乳 が ん	検 診 車		23,361	11,373	8,406	3,582
	検 診 センター		48,503	28,116	15,403	4,984
	計		71,864	39,489	23,809	8,566
	計 画 数		71,525	39,840	22,950	8,735
	実 施 率		100.5%	99.1%	103.7%	98.1%
肺 が ん	検 診 車		80,422	40,538	24,694	15,190
	検 診 センター		26,673	14,382	8,493	3,798
	計		107,095	54,920	33,187	18,988
	計 画 数		115,020	59,600	35,700	19,720
	実 施 率		93.1%	92.1%	93.0%	96.3%
大 腸 が ん	検 診 車		95,412	55,841	26,342	13,229
	検 診 センター		43,160	26,602	10,673	5,885
	計		138,572	82,443	37,015	19,114
	計 画 数		136,190	82,500	35,120	18,570
	実 施 率		101.7%	99.9%	105.4%	102.9%
小 計	検 診 車		309,039	168,951	91,804	48,284
	検 診 センター		189,283	109,776	56,575	22,932
	計		498,322	278,727	148,379	71,216
	計 画 数		518,275	293,610	150,870	73,795
	実 施 率		96.2%	94.9%	98.3%	96.5%

*肺がん検診にはヘリカルCT含む

総括表

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
前立腺がん	検 診 車		11,508	4,870	3,705	2,933
	検 診 センター		5,079	2,925	1,362	792
	計		16,587	7,795	5,067	3,725
	計 画 数		16,380	7,900	5,000	3,480
	実 施 率		101.3%	98.7%	101.3%	107.0%
特定健診	検 診 車		44,571	19,338	15,844	9,389
	検 診 センター		13,132	8,588	3,077	1,467
	計		57,703	27,926	18,921	10,856
	計 画 数		58,690	29,300	19,000	10,390
	実 施 率		98.3%	95.3%	99.6%	104.5%
定期健康診断	検 診 車		19,190	14,430	3,453	1,307
	検 診 センター		7,335	4,283	1,102	1,950
	計		26,525	18,713	4,555	3,257
	計 画 数		28,664	20,854	4,770	3,040
	実 施 率		92.5%	89.7%	95.5%	107.1%
協会けんぽ (生活習慣病 予防健診)	検 診 車		540	100	263	177
	検 診 センター		6,542	4,388	1,068	1,086
	計		7,082	4,488	1,331	1,263
	計 画 数		6,140	3,900	1,200	1,040
	実 施 率		115.3%	115.1%	110.9%	121.4%
人間ドック	検 診 車		88	-	88	-
	検 診 センター		2,065	1,484	396	185
	計		2,153	1,484	484	185
	計 画 数		1,530	1,000	350	180
	実 施 率		140.7%	148.4%	138.3%	102.8%
骨 検 診	検 診 車		1,209	921	71	217
	検 診 センター		9,547	6,552	2,521	474
	計		10,756	7,473	2,592	691
	計 画 数		13,020	9,000	3,200	820
	実 施 率		82.6%	83.0%	81.0%	84.3%
婦人科超音波	検 診 車		17,351	7,396	7,632	2,323
	検 診 センター		39,734	21,287	14,198	4,249
	計		57,085	28,683	21,830	6,572
	計 画 数		62,805	32,735	23,000	7,070
	実 施 率		90.9%	87.6%	94.9%	93.0%
腹部超音波	検 診 車		235	-	235	-
	検 診 センター		3,957	3,471	129	357
	計		4,192	3,471	364	357
	計 画 数		3,450	3,200	250	-
	実 施 率		121.5%	108.5%	145.6%	0.0%
小 計	検 診 車		94,457	47,055	31,056	16,346
	検 診 センター		87,391	52,978	23,853	10,560
	計		181,848	100,033	54,909	26,906
	計 画 数		190,679	107,889	56,770	26,020
	実 施 率		95.4%	92.7%	96.7%	103.4%
合 計	検 診 車		403,496	216,006	122,860	64,630
	検 診 センター		276,674	162,754	80,428	33,492
	計		680,170	378,760	203,288	98,122
	計 画 数		708,954	401,499	207,640	99,815
	実 施 率		95.9%	94.3%	97.9%	98.3%